

第4回日本精神科医学会学術大会 2015.10.8-9 (沖縄県)  
当院入院中の認知症高齢者の七夕・短冊の内容による心理分析

医療法人 聖志会 渡辺病院 作業療法課  
下村瑠衣、門岡奈月、菊池多恵  
林田綾、高井静香、松本祥平

【目的】今回、我々は七夕祭りの短冊の内容を読みとることによって、入院加療中の認知症高齢者の心理状態を、分析・評価したので若干の考察を加えて報告する。

【対象】七夕祭りに参加し、短冊を作成した入院患者 190 名（男性 81 名、女性 109 名）平均年齢 81.2 歳、主病名 AD：128 名、VD：27 名、DLB：8 名、混合型認知症：7 名、アルコール性認知症：15 名、ピック病：1 名若年性 AD：1 名、統合失調症：1 名、コルサコフ症候群：2 名

【方法】七夕の短冊に書かれている内容を、すべて抽出した。短冊には、個人名が記載されているが、特定されないように性別と内容以外は抽出しないよう配慮した。分類は、短冊の内容に即した我々の分類、次にマズローの欲求 5 段階を採用した。

【結果】記載された 190 名の短冊の内容を検討し、男性 81 名、女性 109 名の短冊を分析した。まず、われわれの分類では、「自分の健康維持」44 名、「疾患治癒」9 名、「退院」15 名、「外出」1 名、「家族面会」19 名、「友人面会」6 名、「食欲」37 名、「旅行」13 名、「お金持ち」6 人、「家内安全」5 名、「感謝」5 名、「恋愛」5 名「歌」3 名、「今日は七夕」が 4 名、「ファッション」2 名、「幸福」2 名、「思い」2 名、「その他」12 名となった。

【考察】マズローの欲求 5 段階と認知機能との関係を分析したところ、有意な差は見られず ( $p=0.22$ )、概ね同程度の認知機能であった。しかしながら尊厳欲求 1 名と自己超越 8 名 ( $p=0.001$ ) に認知機能の低下が見られた。さらに認知機能別に 3 段階に分け、マズローの欲求との関係を検討した。0~10 点のグループ、11~20 点のグループともに、安全欲求が一番多かった。一方、21~30 点のグループは社会的欲求が一番多かった。また 0~10 点と 11~20 点のグループを比べると自己実現欲求に増加がみられた。このことから、認知機能が高くなると、社会的欲求、自己実現欲求が、多くなる傾向が見られた。